

周りの人に支えられた出産でした。でも次回妊娠は不安…

不安な気持ちは誰かに相談するといいかもしれません

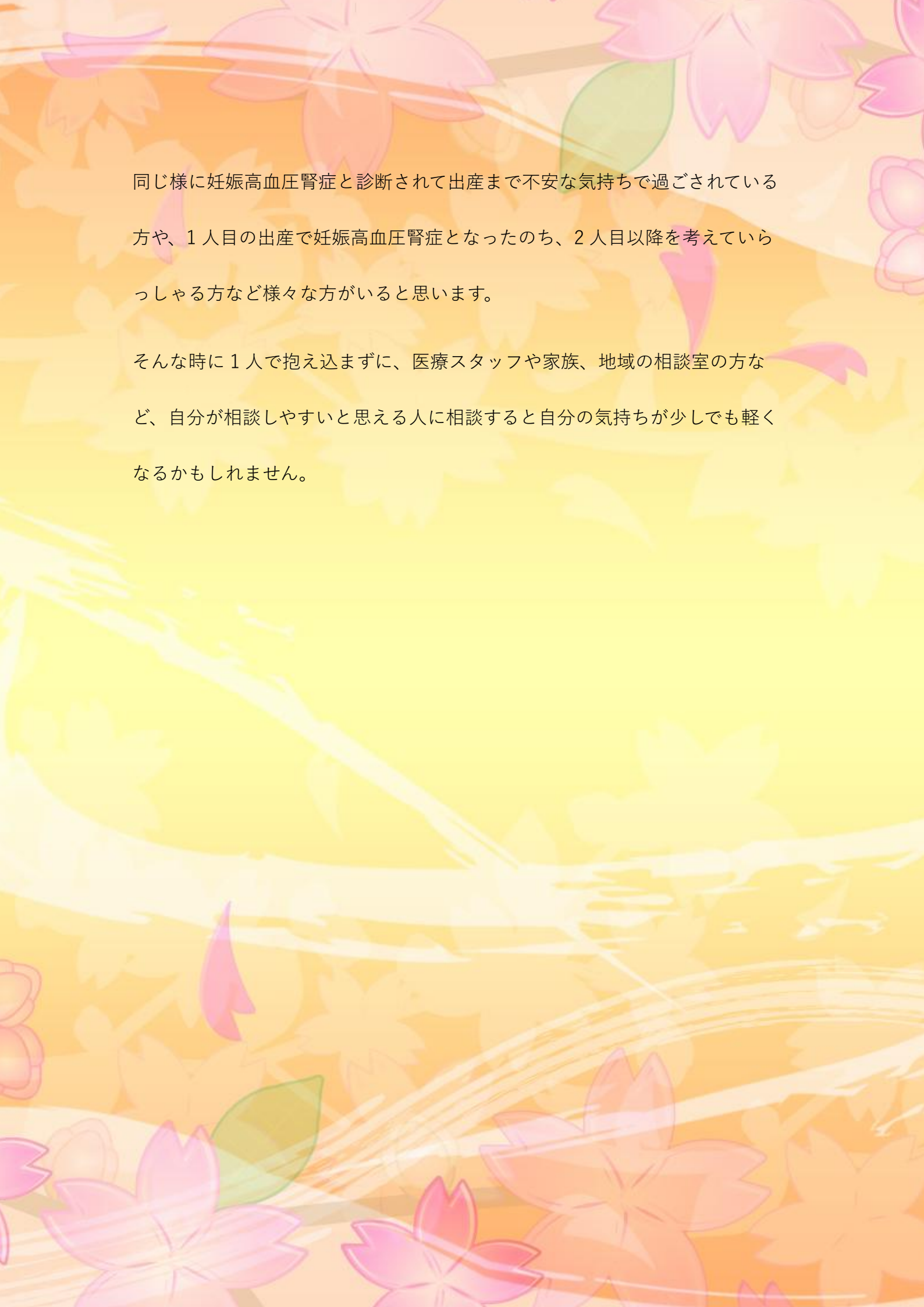
34歳の時に34週で妊娠高血圧腎症で緊急帝王切開になりました。生まれた娘は2000グラムほどでしたが、現在は後遺症等なく元気に保育園に通っております。

想像していた出産とは全く異なり、当時夫も出張で近くにおらず1人で手術に臨んだため、とても不安だったのを今でも思い出します。

幸いにも通っていた大学病院の担当の先生や看護師さんがとても親身に話を聞いてくださり、不安だらけだった心を救ってくださったことを心から感謝しております。

現在2人目を考えております。年齢も上がりさらにリスクが上がり心配ですが、以前お世話になった先生と相談しながら進めて行きたいと思っています。

出産当時、周りにも妊娠高血圧腎症になったことのある知り合いもおらず、自分の身体のこと、生まれた子供のことなど心配だらけでしたが様々な方たちに支えられてここまでやってきました。



同じ様に妊娠高血圧腎症と診断されて出産まで不安な気持ちで過ごされている方や、1人目の出産で妊娠高血圧腎症となったのち、2人目以降を考えていらっしゃる方など様々な方がいると思います。

そんな時に1人で抱え込まずに、医療スタッフや家族、地域の相談室の方など、自分が相談しやすいと思える人に相談すると自分の気持ちが少しでも軽くなるかもしれません。